

平成 20 (2008) 年度「NGO 長期スタディ・プログラム」最終報告書記載項目

提出日：2009年3月17日

氏名：一瀬 恵美子

所属団体：ピースボート

受入先機関名(所在国) :Hawaii Eco Tourism Association (米国)

研修期間(全体)：2008年10月6日～2009年3月16日

研修テーマ：オルタナティブ・ツーリズムとそのビジネスモデルを学ぶこと

全体研修目標：現地の経済とコミュニティと密着した形のオルタナティブ・ツーリズムのビジネスモデルを学び、学んだ事をピースボート内で共有し、ピースボートが訪れる世界中の寄港地プログラムにそのビジネスモデルを反映させること。

具体的な研修内容：

(1) Hawaii Eco Tourism Association のメンバーを訪ねフィールドリサーチを行う。作成した質問表に沿ったQ&Aを行う他、オペレーションを見学、体験させてもらい実際に彼らが行っているツアーに参加する。

(2) より多くの人にエコツアーについて知ってもらう為、協会メンバーのツアープロモーションビデオを作成。Youtube や Hawaii Eco Tourism 協会のサイトでビデオを配信する。

研修の成果：

1. エコツアー、フィールドリサーチ

Eco tourism Association とハワイ大学(UH)教授とフィールドリサーチの計画を立て、質問項目を策定した。この時に、ビジネスモデルを学ぶための質問だけではなく、ハワイのエコツーリズム業界が現在抱えている問題を明らかにするような内容も織り込んだ。

5ヶ月間のフィールドリサーチで訪問した団体は、カウアイ島、ハワイ島、オアフ島、マウイ島、4島で合計19団体。NGO、企業、教育機関でエコツアーを行っている団体を訪問。

カウアイ島

(Limahuli Garden, Kauai Backcountry adventures, Steel Glass Firm, Malama Kauai)

ハワイ島

(Hawaii Nature Explorers, Kalani, Volcano discovery, Volcano house, Yoga Oasis)

マウイ島

(Kahunu Garden, Kipuhulu Ohana, Maui Nei, Pacific Whale Foundation, SLIM)

オアフ島

(Dole Plantation, Hoa' Aina Makaha, Kualoa Ranch, Pacific Island Institute, Waimea valley, Group 70s)

(1) フィールドリサーチで分かった事

(1-1) 企業+NGO/NPO というハイブリッド組織の可能性

訪問した団体の中でも企業とNGOという2つの団体がひとつのビジョンの下で活動し成功しているケースがいくつかもあった。その中でも、マウイ島の Pacific Whale Foundation (NGO/NPO) は、クジラ見学をするエコアドベンチャークルーズや海洋生物のリサーチや教育を行い成功している。同団体はわたしが訪問した19団体の中で一番アグレッシブに環境問題に取り組み、ボランティアなどを使い観光客をコミュニティ活動に取り組みようと努力している団体である。NGO/NPO+企業というハイブリッド組織になった背景には、海上でオペレーションができるのは、船会社のみという制限がある。そのため、もともと海洋生物保護団体だったNGO/NPOが営利企業であるボート会社を購入しハイブリッド組織となった。非営利の部分がリサーチやキャンペーンを行い、ツアーのオペレーションは会社の部分が担っている。営利に囚われず行えるリサーチやキャンペーンが常に新しいオペレーションのやり方や環境経営の方法論を提示し、それをオペレーションをおこなっている企業側が取り入れることにより、時代を先駆けた取り組みを数多く生み出し、環境に配慮したオペレーションであることを宣伝に使うことによってより多くの顧客が Pacific Whale Foundation のツアーに参加する。というよい相互関係がなりたっている。また、オーシャンクルーズツアーを行っている同業者たちを集め、教育を行うことで、業界自体をよりエコな方向へと変えようとしている。環境に負荷の少ない活動をするためには、通常のコストよりも高くなってしまいう問題をどう解決しているのかという質問に対して「わたし達はエコツアーをやっています。「エコ」だという理由で他のツアーではなく、わたしたちのツアーに来てくれるお客さんが沢山います。多少値段が高くても環境に配慮した方法で活動することが、エコビジネスをやるということです。その姿勢は絶対に変えられないわたしたちの信念です」という答えが返ってきた。共通のミッションステートメントを採用することにより、彼らの語っている思いが信念(ミッション)となりビジネスのやり方にも影響している。

ハイブリッド組織の利点は、1.NGO/NPOのネットワークから社会的問題に対する解決方法が得ることができる 2.ビジネスの手法を用いてより多くの活動資金を得ることができる 3.NPO/NGOなので補助金や助成金、募金や寄付を集めることができる 4.NGO/NPOに対し税控除がある 5.NGO/NPOの下でボランティアを集めボランティアに対して啓蒙活動や教育をすることができ、かつ人件費の節約もできる。という点があげられる。

ハイブリッド組織の形態は同団体のようにNGO/NPOが企業を取り入れる方法のほか、企業のCSR部門でNGO/NPOを作ったり、NGO/NPOで担っていた社会的貢献を会社がCSRとして担ったりと双方向から作ることができる。また、最近では社会的企業や社会的共同組合のような二つの特徴をまぜあわせた組織がハワイだけでなく、世界中にできつつある事もここで付け加えておきたい。

(1-2) ボランツリズムの広がり(ボランティア+ツーリズム=ボランツリズム)

書店にいくと Volunteer in Paradise というボランティアガイドブックがある位、ハワイではボランツリズムが活発になってきた。特に、ハワイ旅行のベビーブーマーを中心としたリピーター層にボランツリズムがひろがっている。タイムシェアなどを利用し何度もハワイを訪れる内に、観光客としてではなく、地域に住む住人としてハワイに住みたいという思いが生まれてくると、ボランティア活動をした後の達成感がボランツリズムが広がってきている理由だろう。また若者の間でも、

WOOFのように労働力を提供しその代償として海外でのスローライフを経験できるという自己実現機会が得られる理由で WOOFに参加する若者が増えている。

訪問した団体でも、ボランツリズムを意識したツアーやオペレーションが見られた。

ボランツリズムの形態には、1. FREE 2. ワークエクスチェンジ(ボランティア活動に対して、食事や宿泊施設の提供がある) 3. ボランティア・バケーション(ボランティア参加者がボランティアを行うことによって安いレートでサービスを受けられる。という3つのバージョンがある。例えば、有機農業を営む農家で労働力を提供し無料で滞在するWWOOF(Willing Workers On Organic Farm)は、農家で働きたいという意欲のある個人(WWOOFer)と、働き手を受け入れたいというホスト農家をつなぐシステムである。このシステムでは、WWOOFer は滞在先の農家で1日6時間労働し、その対価として宿泊と食事が無料で提供される。労働力に対して対価があるという点で、WOOFは2.のワークエクスチェンジに分類される。

訪問した団体でも、YOGA オアシスでは、ヨガの講師やベジタリアンシェフをワークエクスチェンジを使って世界中から集めたり、Kalaniというリトリートでは、100人のスタッフ中80人がワークエクスチェンジとボランティア・バケーションを利用したボランティアだったりボランツリズムは広がりを見せている。この他にも、国立公園での外来種駆除活動や植林活動などもあった。

ボランツリズムは、マスツーリズムに変わる「持続可能な観光」を行うモデルとして、とても有効的なモデルであると確信した。普段は観光で訪れる地域社会が必要としている活動を吸い上げ、そこに観光客という労働力を起用することにより、より地域に還元のできる観光の形ができる。またバケーションでボランティアを体験することにより、自国に帰ってから社会運動への参加度が向上し、それが社会変化へもつながると考えた。

ボランツリズムのこれからの課題として、ボランティアをオーガナイズするボランティア・オーガナイザーの人材育成や地域社会のニーズを吸い上げ地域と観光客をマッチングするような団体の必要性があげられる。

2. エコ+ソーシャル活動例

以下、訪問した団体を取り入れている活動例

- ・ バイオディーゼル：リサクルベジタブルオイルを利用
- ・ オフィスや宿泊施設でのソーラーパワーの利用
- ・ バイオディグレーダブル/コンポストな製品の利用 (“tree free/petroleum free” “GMO free” 通常の Biodegradable の製品は遺伝子組み換えを行ったコーンでつくられている為、あえて GMO フリーの バイオディグレーダブル製品を使っている団体もある) .
- ・ 低公害、低騒音 (騒音に敏感な海洋生物がいる為) 船の利用
- ・ Reef safe moorings (サンゴ礁と傷つけないように、毎回アンカーを下げるのではなく、固定された保留装置を利用)
- ・ Reef safe sunscreen (サンゴ礁に影響がなく、かつバイオディグレーダブルな日焼け止めを船内で無料提供)
- ・ 廃棄物の海洋投棄をする代わりに廃棄物をくみだしています (認定された廃棄物管理の方法)。
- ・ 政府が制定した法律を守るだけでなく、自社のガイドラインを作り、政府よりも一歩進んだ環境保全対策を取り入れ自社規制している。
- ・ 100% リサイクルペーパーの使用 (パンフレットなど印刷物はすべてリサイクル資材を使用し、リサイクル紙を作る過程でも化石燃料は使われていません)
- ・ 地域の学校の子供たちへの教育を行う。

- ・ボランティア（ツアーに参加した人達から）を集め、国立公園でボランティア活動ツアーを無償で行う。
- ・フェスティバルなどを企画し、コミュニティーの意識を高める活動をしている
- ・インターン制度を導入し、キャリアメンターとしてグリーンビジネスを担う人材を教育
- ・地産地消（ローカルな農作物の利用）

以上の内容 +αを、エコツーリズム協会で研修結果報告ということでプレゼンテーションを行った。そのプレゼンテーションは、エコツーリズム協会のメンバーたちにシェアされている。

2. プロモーションビデオ

合計3本のエコツアーのプロモーションビデオを作成。そのビデオは、エコツーリズム協会のサイトに貼り付けられる予定。

本研修成果の自団体の組織強化や活動の発展への活用方針、方法：

研修成果のプレゼンテーションをピースポート全体に向け行う予定。また、ピースポート内で寄港地プログラムをつくっている部署を対象にボラントゥーリズムやアグリトゥーリズムについての説明会を行い、より地域社会に貢献できるツアー作りを考えるセッションを行いたいと考えている。また、あつめてきた資料などもより多くのスタッフにシェアできるようにしたいと思う。

ピースポートができるエコ活動のリストを作成し、現実的に実現可能な取り組みをひとつずつ提案してゆきたい。

その他：

1. 各訪問団体のレポート
2. HEA（ハワイエコツーリズム協会）でおこなったプレゼンテーション
3. 作成したビデオ（ハワイエコツーリズム協会のサイトへのアップ作業が遅れているため、現在ビデオはYoutubeのみで見ることができます。

<http://www.youtube.com/user/SustainableTours>

以上